

ドイツ連邦食料・農業省 農林漁業最新情報  
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft  
NO 13  
2021・9・28

1 G20 一農業大臣会議：持続的な農業と自由貿易で食料の確保を  
一農業の気象変動への適応とともに気象変動の阻止が重要一 (2021・9・18)

G20 一農業大臣会議の共同声明一政務大臣ベアーテ カッシュは、ワンヘルス  
アプローチ（訳注・ヒトの健康を守るために、動物や環境にも目を配るとい  
う考え方）の重要性を強調した。G20 一農業大臣会議は、イタリアのフィレン  
ツェで開催された今年はこの会議に際して、人々の食料を世界的に、持続的に  
確保し、農家家族の適切な収入を可能とし、そして同時に環境一気象を適切に  
守ることについて審議した。気象変動、コロナパンデミック並びに飢えてい  
る人々の増大に直面しているが、これらの課題は緊急を要する。ドイツは連邦  
食料・農業省政務次官ベアーテ カッシュが出席した。この交渉において、世  
界的な食料システムの中でより多くの気象保護の重要性が、確認された。

ベアーテ カッシュ政務次官：” 気象変動は世界の食料確保を危機に晒してい  
る。これについて我々は、強い回答を必要とする。我々はここで決定的な1歩  
を踏み出した。我々は最終コミニケにおいて、G20 が世界農業の気象適応だ  
けでなく、気象変動の阻止もまた明確に視野のなかに、入れることを確認した。  
これは重要な成果である。ドイツは既に大きな貢献を果たしている。例えば、  
発展途上国との相互連携において、科学的知見の伝達でも支援している。

さらに G20 は自由で公正な貿易を、明確に表明している。まさに世界的なパ  
ンデミックを背景に、飢餓との闘いと世界の貧困地域における収入状況を改善  
することに、決定的な貢献を果たすことができる。” さらに政務次官は、グロ  
ーバルなワンヘルスアプローチに対する、ドイツの支援を今一度確認した。  
人間、動物そして損傷のない環境は、互いに密接に結びついている。コロナ  
は、これら全てのことをはっきりとさせた。将来的に似たような人畜共通感染  
症一パンデミックを防ぐために、この様々な体験を戦略的に交流し、活用され  
ねばならない。

ベアーテ カッシュ 政務次官：“動物の健康は、人間の健康にも貢献を果たす。フリードリッヒ レーフラー研究所に併設された新しい国際動物の健康/ワンヘルス研究所でもって、既に重要な研究を行っている。”ベアーテ政務次官はイタリアの大統領に対して、大きな尽力と意欲的な最終コミニケが、目前に迫っている国連食料システムサミットのための明確なシグナルであることを強調し謝意を示した。

## 背景：

G20 は 1999 年に国際経済、金融政策共同のための非公式フォーラムとして創設された。20 の先進工業—新興国（訳注・ブラジル、メキシコ、インド、フィリピン、中国など 10 ヶ国）は、世界国民の 2/3 強、世界総国内生産 80%を占めている。2008 年以来、国—政府首脳サミット会議が毎年開催されている。この首脳会議と並んで専門大臣会議もまた、2011 年以来定期的に G-20 会議として開催されている。

## 2 連邦食料・農業省：農業—食料業の革新的構想に財政上の推進力を— —専門家諮問委員会が奨励対象を選定し支援を—（2021・9・24）

連邦食料・農業省は農業年金銀行と共同で、新たに提出した奨励プログラムでもって、革新的な農業関連事業を資金調達段階において支援する。農業年金銀行は、奨励プログラムを専門的な立場から支援するために、専門家諮問委員会を設置した。今日（9月24日）この委員会最初の会議を開催した。

さらに連邦食料・農業省政務次官ヨアヒム フォヒテルは、“我々は農業における広範な転換プロセス具体化のために、農業に積極的に取り組む起業創設者の革新的な構想を必要とする。持続可能な CO<sub>2</sub>—削減と自然資源保護のために、また、グリーン デイール（訳注・雇用を創出しながら、CO<sub>2</sub>の排出量を削減するという、EU の新しい成長戦略）実践のための革新的取組み、そして家畜の福祉、健全な食料（例えば食料中の砂糖、塩そして脂肪を削減）のために。

まさに我々は農業—食料業において、巨大なパイオニア精神と素晴らしい革新的な可能性に遭遇している。私は特に喜んでいて。今、我々の支援提供が起業スタートに際して、大きな関心をもたらしていること。そして専門家諮問委員会が、専門的なノウハウでもって我々を支援することに、謝意を示したい。

専門家諮問委員会には、奨励採択のための前提条件としての成功の見込みを評価するという課題を担ってもらおう。”

次の専門家が「専門家諮問委員会」のメンバーとして任命：

- ー ボン大学教授 Dr.ステファニー ブローリング
- ー オスナブリュック応用科学大学 教授 Dr.カーリン シュニッカー
- ー フラウエンホーファー実践ソフトウェア工業研究所  
カイザス ラウテルン技術大学 教授 Dr.ヨルグ ドエール
- ー フランクフルト ドイツ農業協会 Dr.ロタールヘーヴェルマン
- ー ハノーバー アーンスト・アンド・ヤングコンサル会社 Dr. クリントン  
ジャンゼ
- ー ミュンヘン・アマタオン キャピタル（統合農業技術ベンチャー キャピ  
タル企業） ボリス フェルター
- ー ベルリン・ジンテイス社（食品販売業） ファビオ ジームセン
- ー ベルリン・ブローゼ ベンチャー（自動車部品メーカー）
- ー フランクフルト・MJTZ 法律事務所 Dr.テールマン シュレッカー

キーワードとなるプログラム：

受益者・農業関連起業のスタート 農業経営でないこと

奨励の種類・長期、利子的に有利な劣後貸付金（元利金返済順位の低いロー  
ン）アドバイス、研修、コーチのための革新バーチャー（金券）  
形態の奨励

奨励額・始めに連邦農業基金目的国家資産から、毎年 800 万ユーロ（約 9 億  
6000 万円）を、農業年金銀行に活用を委任している。

奨励対象・生産ーまたはサービス業構想のさらなる発展のため、そして場合  
によっては保護ー商標権、レンタル料金と人件費、経営経費、マー  
ケティングへの投資、企画、研究またはトレーニング（職業教育）

実施期間・2年から最大10年

奨励額・通常 400 000 ユーロ（約 5 200 万円）を限度とする。特別に革新的  
な計画は 800 000 ユーロ（約 1 億 4 000 万円）まで可能。同時に補  
完的に民間資本獲得の期待に結びついている。

管 理：

定期的な報告義務

選 定：専門家諮問委員会のメンバーが、潜在的な成果の見込みについて、入  
念に選び出す。これを連邦省農業省の委託に基づいて、農業年金銀  
行が提案を審査する。

密接な支援：農業年金銀行と専門家諮問委員会である。



食料チェーンと健全な栄養の分野において、5つのプロジェクトが奨励されている。ここでは、食料の安全性、透明性そして持続可能性奨励のためのAI投入が研究されている。AIの適用可能性は、革新的な予測モデルに見出せる。

農村地域のテーマ分野において、計3つのプロジェクトが奨励されている。これは観光、地域的な価値創造チェーンと、地域産物の販売に重点がおかれている。

### 最初の奨励決定証書を授与

連邦食料・農業大臣クレックナーは、2021年2月19日に既に2020年12月にスタートしている8つの「パイロット・プロジェクト」に、奨励決定書を手渡ししている。農業分野で2021年4半期初めに、8つのプロジェクトスタートした。

- ◇ AIテーマ分野：ドイツ人工知能研究センター オスナブリュック応用科学大学 レムケン社（農業機械） ベルナド クローネ社（農業機械工場）  
農業分野： 環境知覚解析の産業発展のための研究
- ◇ エボレクチオン（豚の繁殖促進プログラム）  
農業分野： ヘルシュ&ロイシュナー社（豚・家禽の飼育及び畜舎の統計を基礎に生産性の高い母豚群における飼育進歩の奨励システム）
- ◇ AI・センサー： センサーデータによる基礎的な選択一繁殖を伴う群における基幹母豚の基礎的な選択
- ◇ AI・課題管理： ユリウス キューン研究所併設の連邦作物研究所  
ライン・フリードリッヒ ウイルヘルム・ボン大学  
フラウエン ホーファー工学計測研究所  
システム技術と画像評価：クラウドブドウ園社 ドイツワイントーア社  
農業分野： ぶどう樹の革新的な収穫予測に関する人工知能
- ◇ AI・パイロット： トリア大学  
農村地域分野： 農村地域における革新力強化のため人工知能に係る実世界の実験室創設とソフトウェアプラットフォーム
- ◇ AI・システムチェック： バイエレン州農業研究所栄養専門センター  
IBM ドイツ社 フォルテイス社（スイス時計メーカー）  
健康で持続可能な消費者行動奨励のための人工知能と持続可能なショッピングアシスタント

- ◇ **Movi-Q**：ドイツ食品技術研究所 ドイツ人工知能研究センター  
 ゴーラ ボーヌス社（馬鈴薯専門販売会社）  
 ハイデマルク メスタークレイス社（食品製造会社）  
 食品チェーン分野：食品工業における人工知能による品質視覚認識のためのコンピュータプログラムの原型機の開発（可動式・次世代型）
- ◇ **ポータルサイト**：NPZ イノベーション社（ドイツ育種・植物繁殖）  
 ドイツ人工知能研究センター  
 農業分野：増大したデータ分析のための AI とロボットによる作物育種  
 バーチャル空間における意思決定
- ◇ **レジスター**：ライン フリードリッヒ ヴェイルヘルム ボン大学  
 フェノ検査会社 砂糖工業連盟・ビート研究所 連邦種子局  
 農業分野：ビート品種試験における指標把握のための人工知能と光学センサーの投入
- ◇ **レス KIL**（IT データを中心とした専門的、実践的な教育訓練）：  
 システムクラス社（コンピュータシステムの情報提供）  
 クラス自動収穫機社 ツアウベルグ社（ロボット製造会社）  
 オスナブリュック大学 ドルトムント技術大学  
 農業分野：資源効率性の高い農業機械システムのための人工知能

全 37 プロジェクトの完全なスタートは、2021 年 6 月 31 日であった。

#### 4 クレックナー大臣：ドイツの豚飼育のための展望を創り出す

—養豚経営の苦境打開に助成 2 万ユーロ（260 万円）—（2021・9・15）

連邦食料・農業大臣クレックナーは、養豚業界のオットー キナストとハイネン エッサーと、豚飼育の現状と将来について話し合った。クレックナー大臣のイニシアチブで、今日（9 月 15 日）生産者と加工業界並びに食料流通代表と、と殺豚市場の当面する状況を協議した。その際、ニーダーザクセン州とノルトライン＝ヴェストファーレン州の農業大臣、バーバラ オットーキナストとハイネン エッサーも共に参加した。

この両州において、ドイツの養豚の約 60%を飼育している。昨年この 2 つの州の業界とこのメンバーで会合を開いている。豚を飼育している経営の経済状況は、ドイツにおいて現在不安定になっている。

豚と仔豚の安い価格は上昇する飼料コスト、厳しい販売状況そして消費者の環境・気象保護の期待は、養豚経営の前に大きな挑戦となっている。販売量減少の原因は、特に以下のとおりである。

- ー アフリカ豚熱（ASP）の結果、多くの第三国への輸出制限
- ー 天候とコロナによって需要が弱まっている焼肉シーズン
- ー コロナ条件のもとで、レストラン、イベントでの販売量の減少

クレックナー大臣：“価値創造チェーンの中で1本の綱を引いており、共同の問題解決を見出さねばならない。我々は、政策者として現在の厳しい状況を支援する。我々は ASP にも拘わらず、多くの第三国との貿易を再び可能にした。我々は、コロナ難局支援のための申請期限を12月末までの延長を実現した。我々はヨーロッパ委員会に、短期危機対策をすぐ検討するよう要請した。

いわゆるデミニミス援助（訳注・一定の上限を越えない限り、企業や経営が公的支援でサポートされること可能とする）によって、国内奨励政策に関して3会計年度の期間で、1経営当たり20 000ユーロ（訳注260万円）の助成額を得られる。同時に私は飼育改善のために、将来展望を創り出したい。

なぜならば、家畜福祉産物の市場が、将来的に増々重要となるからである。そのため、私は家畜飼育システムの転換を実行に移している。この構想から資金調達まで今、卓上にある。私はドイツにおいて将来ともこの経営の競争能力をもって、生産してほしいからである。”

バーバラ オットーキナスト：農業はニーダーザクセン州のために、様々な方法で重要なモーターになっている。我々は躊躇なく、迅速に力を伴った努力を必要とする。クレックナー大臣は、ボルヒェルトー委員会の構想のスピーディな実践をせきたてた。これはドイツの家畜飼育の将来性を保証するためにも。9月末の州農業大臣会議に際してニーダーザクセン州は、構造的な危機に対して連邦と州の間で合意した計画を達成すべく、申請を行った。ニーダーザクセン州では、約5 000の養豚経営が約81億9 500万頭（1経営当たり約1600頭）の豚を飼育している。

ウルスク ヘイネンエーザー：“大規模経営は、既に豚飼育の将来を新たに定義づけに着手している。同時に我々はこれを成功させるために、今困難な時期に支援しなければならない。同時期に低下している価格と販売市場の状況下では、環境・動物保護をより多く配慮することができない。

持続的な家畜飼育の将来の道は、畜舎からテーブルまでの全体チェーンに沿って、展開されねばならない。この業界がさらに経済的に機能したときに、家畜の福祉と環境保護に投資できる。これは新しい連邦政府が選択した中心的なテーマである。このための基礎はこの立法議会の任期期間中に、ボルヒェルトー委員会におかれた。これは机上のアイデアではない。この優れた構想は、机の上から排除してはならない。

我々の持続的な家畜飼育戦略でもって、ノルトラインーヴェストファーレン州において、道を準備している。我々のプロジェクト「将来の畜舎」でもって、家畜の福祉に適合した畜舎を試すだけでなく、最適な認可方法についても青写真を創り出す。我々は今チャンスを用いて、将来的にこの業界を創り出さねばならない。”

#### 5 連邦食料・農業省：ドイツの食料を救うー 2021 アクション週間

ー果物と野菜を重点とした廃棄処分の削減ー (2021・9・22)

”ドイツは食料を救う” のモットーのもとに今年のアクション週間は、2021年9月9日から10月6日まで開催されている。今年は果物と野菜を重点としているー国際果実・野菜年に対応して。同時にこのアクションでもって、食料の無駄の減少テーマを全国的に注目させる。まさに果物と野菜は、日持ちが短いので頻繁にゴミ箱に捨てられる。

果物と野菜は健康に良いだけでなく、季節的に地域で購入されるときは、持続可能な食料の一部である。しかし、残年ながらこれらはしばしば、簡単に捨てられる。家庭の中で食料の投げ捨てが、約34%に達している。

果物と野菜は、全食料供給チェーンで学校、保育園など多様な可能性を提供している。このアクションの実施によって、果物、野菜の2つの食料への関心を高めること。そしてより多くの価値評価を得ることである。

#### **行動週間について**

我々の食料は価値多く、その中には多くの資源と多くの労働が込められている。しかし、毎年約1 200万tの食料がゴミとして、捨てられている。我々はこのことを改革したい。



**収穫行動”黄色いーリボン” この樹の果物は収穫が許可されています。**

このアクション週間は、各州からのアクションのアイデア、食料供給チェーンに沿った分野が結びついている。そして相互の交流を奨励し、情報を提供している。連邦食料・農業省のアクション週間は、各州と各地方のパートナーと共同で実施している。この週間の構成は、食料廃棄減少のための国内戦略である。

### あなたも一緒に

- ー 食料の価値をより高めるために、何らかの形で実施したい全ての人々、このアクション週間に参加したい人を、心から歓迎する。このアクションは、間もなく中心となるウェブサイトに登録される。
- ー このアクション週間期間中のイベントとアクションに参加したい市民は、各州または各専門分野による開催行事を、リストで見出せる。

インスタグラムで写真付きのアクションがみられる。**Beste-Reste-Rezepten** (最も良いレシピ) から、食料の残り物の調理と料理の前—後の写真付きで提供される。全てのアクションの共同のハッシュタグは、**# deutschlandrettlebensmittel** である。

## 6 連邦食料・農業省：2021 年度バレイショが複数年での平均収量を確保

ー夏の悪天候と栽培面積減少で前年対比では 9.2%の減収ー (2021・9・23)

連邦食料・農業省は、今日 (9 月 23 日) ドイツにおける今年のバレイショ収穫量の暫定結果を公表した。この調査の基礎は、「特別収穫量—品質調査 (BEE)」に関する専門家委員会の予備調査の結果である。これまで提出された掘取り結果をベースに、約 1 060 万 t の収穫量を見込んでいる。

前年との比較で 9.2%少ない。前年対比では大きく低下しているものの、2015 年～ 2020 年までの複数年の平均収量に比較しては、0.4%の低下であり、ほぼ平均収量が確保されている。連邦国平均においてこれまで手元にある調査結果によると、ha 当たりの暫定収量は 4 100 t となっている。これは前年対比で—4.2%、複数年の平均では—2.3%である。

減少した ha 当たりの収量の基礎は、今年の天候条件である。異常に寒い春によって、バレイショの成育が遅れたこと。これはドイツ全土の広範な地域において、非常に変わりやすくそして湿った夏の天候が、病原菌の感染拡大をもたらした。

そして収量と品質に悪影響をもたらした。7月と8月において、バレイショ畑が、しばしばトラクターなど農業機械の走行に湿りすぎていた。しかし、晩夏の始まりから9月はじめ以来、収穫作業はスムーズに進んだ。

また今年の減収要因の1つは、ドイツにおけるバレイショの栽培面積の減少である。バレイショは、ドイツ全域で約259 300 haの畑地に栽培されたが、これは2020年に比較して約5.2%減少している。

ニーダーザクセン州は、ドイツ全体の約45%の栽培面積を有する、バレイショの重要な栽培地域である。これに続くのがバイエルン州で15%、ノルトライン＝ヴェストファーレン州は約15%弱である。バレイショ市場の進展傾向に関するさらなる情報は、連邦食料・農業省から公表されている「バレイショ市場－供給状況報告」に、記載されている。

#### 背 景：

前年比較で現在なお、「特別収量－品質調査」のためのサンプル圃場がまだ不足で、そのため、相対的評価が少ない結果となっている。これは収穫量確定のための基礎である。収穫調査のために、ドイツ全域から選定された約800以上のバレイショ圃場は、これまでようやく35%のみが調査可能であった。そのため、2021年のバレイショ収穫量の実際的な評価は、今回の評価からまだ大きな差異が生ずる可能性がある。

2021・9・26 訳

青森中央学院大学

中川 一徹